

<2024年度>

第6回理事会議案書

2024年 9月 24日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2024年度 第6回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 鉄鋼会館 802号室

日 時： 2024年9月24日（火）
11：30～14：30

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告（定款第36条）

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 報告事項

(1) 賛助会員との懇談会実施について ----- [理 24-6-報 1]

(2) 取組み課題（委員会等検討体制）に関する確認について ---- [理 24-6-報 2] (p3)

(3) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会 ----- [理 24-6-報 3①] (p4-)

② 函面問題対応検討WG ----- [理 24-6-報 3②] (p13)

(4) 青年部との意見交換会について ----- [理 24-6-報 4] (p14)

(5) その他（「社長の右腕育成講習会」募集等）----- [理 24-6-報 5] (p15-)

6. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 24-6-他 1] (p20-)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 24-6-他 2] (p24)

(3) 2024年度主要会議日程 ----- [理 24-6-他 3] (p25)

(4) 支部報告 ----- [理 24-6-他 4] (p26-)

7. 閉会の辞

以上

報 告 事 項

【理24-6-報1】

賛助会員様・全構協 懇談会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協会

場所:鉄鋼会館 801号室

日時:2024年9月24日(火)

15:00~16:45

【冒頭 事務連絡等】

- ・本日のスケジュール
- ・出席者ご紹介(出席者名簿)

1. 全構協 永井会長挨拶

2. 懇談会

(1)全構協の概況、ファブ業界の状況

- ① 足元のファブ業界の動向
- ② 全構協の概況
 - ・鉄骨推定需要量・構成員数
 - ・2024年度事業計画

(2)各地区の概況

- ・各地区の状況、各地区の活動

(3)賛助会員各企業様との意見交換

3. 閉会の辞

【備考】

17:00 から、802号室にて懇親会を準備しております。(18:00頃まで)
併せてご出席を、宜しくお願い申し上げます。

【理24-6-報2】

2024-2025年 取組み課題<委員会等活動テーマ>整理

<検討の方針について>

◎ 委員会は、各課題の優先順、検討対象、検討の体制、検討可否を含め検討し、執行部に提案（提言）する。

執行部の判断・承認後、委員会は具体的な活動を推進する。

区分	取組み課題	取組み（活動）内容	提案		対応方針 (位置付け)				検討・取組み 体制				備考		
			三 役	支 部	委員会 検討	執行部 【重要】 預り	情報収集		特別 委員会	常設委員会		WG			
							情報 収集	情報 収集		運営	技術				
中期ビジョン 委員会 提言課題	ICT、IoT、DXの促進	・ICT、IoT、DX(CAD、BIM含む)に関わる情報の収集、業務の生産性向上検討 ・図面問題対応検討WGとの連携、日建連BIM研究会との情報共有	○	○			○								
		・機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討（北海道支部）		○	○						○				
	S化の推進	・S化シニア維持、SDG's(グリーンステール・低CO2)推進に向けた情報収集、関係先（鉄連、JSCA等）との連携・意見交換、組合・構成員への情報展開	○	○	○						○				
	人材教育と資格手当の連動	・個人毎のキャリアパスの作成に関わる検討 ・離職率の低下を助く方策の検討	○		○						○				
	原価管理の徹底	・原価計算を構成員全社実施 ※まずは、中小ファブを対象とし、財務・原価管理の基礎知識を付与	○					○							
	快適職場認定制度（労働環境整備）	・全構協版(型)快適職場認定制度の設立 ※労務者・日建連策定内容を参考に、全構協版の制度の立案・構築 ※快適職場⇒労働環境（働き方対策、安全）・働きやすさの確保	○		○						○				
継続課題	人材育成	・既存研修(人づくり研修・次世代経営研修)の継続有無検討(2025年度)	○		○						○				
	一次加工品質管理	・Fabと一次加工業者との契約状況及び一次加工の品質管理体制の実態把握 ・品質管理に必要な条件や品質管理能力の実証方法の検討、協力要請・認知活動	○		○							○			
	JASS6改訂への対応	・JASS6改訂に向けた要望・提案とりまとめ ・要望提案先の対外委員会(A1)日本建築学会)との対応	○	○	○							○			
	労務法改正に向けた 検討	・労務法改正・労務関係の管理方針について ・労務法改正に関する調査(労務法改正・労務法改正)実施	○		○							○			
	業界の地位向上に向けた 発信強化(業感調査)	・発信強化に向けた業界動向・実態の把握(※調査内容・項目の精査・検討) ・回答率向上(精度向上)施策の検討 ・メディア活用等による知名度向上施策の検討(中部支部)	○	○	○							○			
	鉄骨需要調査、生産量確保	・国内外の生産状況が変化中、国内需要の確保、適切な供給環境の維持に向けた、現状把握と施策の検討(近畿支部)	○		○		○								
	図面問題対応検討	・地方展開は継続課題	○	○								△	○	(図面WG)	
	ゼネコン向け鉄骨教育	・「手順・ポイント」をまとめたゼネコン用マニュアル作成(九州支部)	○		○										
	物流・輸送問題への対応	・運送の効率化・コスト削減(受注条件等見直しによる効率化)(北陸支部) ・置場等を活用した小運搬方法の検討(北陸支部)	○	○				○							
	共済事業の充実	・共済制度について、会員のメリット(デメリット)が不明確 ・共済の意義を明確にし、啓発活動の方向性を検討(中国支部)	○		○						○				
JSCA等との意見交換会対応	JSCA等、構造技術者(団体)との産・学の見直し交換会の開催	○		○							○				
新規提案	価格・費用への対応	・適正価格維持(鉄骨ある行動)に向けた啓発活動(北海道支部) ・副資材、エネルギーコストの価格転嫁(北陸支部)	○		○										
	労働力不足への対応	・熟練労働者の不足が深刻な課題となっている中で、いかに若い人の鉄骨への関心を高めるか、複雑なディテール等の機械化等の課題の検討(北陸支部)	○		○						○				
	輸入鉄骨	・鉄骨需要量が減少する中で、海外鉄骨の流入拡大についての調査・対策検討(永井会長)(東北支部)	○		○										
	行政(経産省、国交省)との関係強化	・両省との関係のあり方について調査を行い、連携の在り方について検討する(東北支部)	○								○				
特定技能外国人材対応	・今後、明らかになってくる業務内容(範囲)に対応した組織的な対応策の検討 ※外国人材の管理業務(管理範囲)は不明だが、高い負荷が想定される	○		○			○								
改善要望	リモート講習会	・資格関連の講習会について、移動負担を軽減するため、リモート講習会を検討(北海道支部)	○					○							
	下請代金支払の適正化	・代金支払いの実質的な適正化(立替負担の軽減)に向けて、着工一時金、検査完了時点での出来高査定等の施策の検討(北陸支部)	○					○							
	専任の主任技術者	・専任の主任技術者の対応(配置)について ※工場内作業と現場工事の費用を区分し、現場工事のみ対応(中部支部)	○					○							
	規制への対応(鉄骨製作に関わる)	・触法性が高いが対応出来ない事項、今後法令が規制するであろう事項等について調査研究を行い、公表等具体的な活動に繋ぐ(中国支部)	○					○							

2024 年度 第 2 回 運営委員会 議事要旨

1. 日時 2024 年 9 月 10 日 (火) 14:00-17:10
2. 場所 全構協 第 1 会議室
3. 出席者
委員会 妹尾委員長
猪股副委員長・松枝副委員長
高田・松田・川上・松尾・倭島・渡辺・原田各委員
全構協 平井事務局長・大原総務部長・滝本
4. 議事次第
 - 1) 委員長挨拶
 - 2) 業績等調査について
生産トン数、輸入鉄骨、賃上げ、外国人材に関する設問を追加した最終版を確認
題目「業績等調査」→「業界動向調査」に変更
9/24 理事会で調査内容について承認を取った後、調査開始(9/25~10/25)
11/19 理事会で集計結果報告予定
(11/12 三役会、11/20 青年部意見交換会の場でも報告する計画)
調査期間中、進捗を各県組合・支部長・運営委員にも報告し、それぞれから回答・提出
を促すよう動いてもらう(回答率目標/70%)
 - 3) 検討課題について(理事会からの各諮問を確認)
【人材育成と資格手当の連動】
具体的な検討内容、成果物について、改めて理事会で確認した上で進める
(以前 WG でも検討した「資格」についても方向性含め確認)

【人材育成】
既存研修(人づくり研修・次世代経営研修)の継続有無検討(2025 年度)を行うにあたり、
研修内容・運営状況を把握してもらうため運営委員に研修への参加(オブザーバー)して
もらう
〔高田→九州支部、猪股→東北支部、松田→関東支部、川上→北陸支部(1 日のみ)
松尾→中部支部(1 日のみ)、松枝→中国支部・近畿支部、倭島→中国支部、渡辺→九州支
部・四国支部(1 日のみ)、原田→九州支部〕

【業界の地位向上に向けた発信強化(業態調査)】

発信強化に向けた業界動向、実態の把握、調査内容・回答率向上対策の検討
(現段階で既に実行済)

【図面問題対応検討】

図面問題対応検討WGで作成した「見積条件書」を9月の理事会で報告
11月～来年3月に各支部から各県・構成員へ周知の説明をしていく際に運営委員にフォロー(説明会の日程確保等)をしてもらう(来年4月から使用開始の予定)

【共済事業の充実】

事前に取りまとめを依頼した、各県組合・自社の共済事業への取組み状況等を共有
各事業については見直し・中止・新規導入全てを視野に入れた状態で検討していく
具体的な検討は、保険とそれ以外の2つに分けて分科会を立ち上げ、運営委員に支部事務局(選抜)にも入ってもらう(案/ファイナンシャルプランナーにも入ってもらう)
次回の委員会で立ち上げ、年度末までに一定の成果を出す目標

4) 今後の進め方

次回委員会を10月下旬以降で開催

2024年度 業界動向調査（旧：業績等調査アンケート）

企業担当者様へのお願い

- ※ 本調査は、私たち鉄骨加工業界の動向、ならびに取り巻く環境について把握することを目的としております。
- ※ 本調査の回答内容は秘密を厳守し、他の目的に使用することは致しませんので、ありのままの状況をご回答ください。
- ※ 2024年10月25日(金)までに、下記用紙もしくはメール添付のURL (Microsoft フォーム)へ回答願います

問い合わせ [事務関係] ○○○○組合 TEL:○○○○
 [内容について] (一社) 全国鐵構工業協会事務局 TEL:03-3667-6501
 総務部/滝本

所属組合名、社名、所在地、グレードをご記入ください。

※該当するグレードにチェック (✓) を入れてください

所属組合名	注) 事業所所在地 (都道府県) ではありません					
貴社名	ご担当者名					
所在地						
グレード	<input type="checkbox"/> S	<input type="checkbox"/> H	<input type="checkbox"/> M	<input type="checkbox"/> R	<input type="checkbox"/> J	<input type="checkbox"/> 未認定

従業員数について回答ください

- ・従業員数として数える雇用区分は、正社員・再雇用です
- ・障がい者(従業員数)はパートタイマーも含めてください
- ・外国人材(従業員数)は契約社員も含めてください
- ・出産、育児等で一時的にパートタイマー契約になっている方は従業員数に含めてください
- ・労働時間/週 20 時間未満は、0.5 人で計算してください
- ・該当する従業員が居ない(ゼロ)場合は、0 と回答してください

	男性	女性
従業員数(全社で)	名	名
60歳以上	名	名
管理職に就いている人数	名	名
障がい者	名	名
外国人技能実習生	名	名
高度外国人材(契約社員含む)	名	名
特定技能外国人(契約社員含む)	名	名
上記以外での外国人雇用(契約社員含む)	名	名

- 設問 1. 女性従業員が担当している業務について、お尋ねします。
 担当業務の内訳を記入してください。
 職責上兼務されている場合は、主たる業務を1つ選択し回答ください。

①	一般事務関係	名
②	営業関係	名
③	設計、図面、積算担当	名
④	製造管理、検査関係	名
⑤	工場作業	名
⑥	その他職種	名

- 設問 2. 貴社の昨年度(2023年度)の建築鉄骨総完成売上トン数をお答えください。

2-(1) ※外注、下請けに出しているものも含めます。

※橋梁、橋梁耐震金物、胴縁等付属設備、プラント架台等、建物内にある構造材及びそれに準ずるもの、その他土木付属設備は除きます。

t(トン)

- 設問 2. 貴社の昨年度(2023年度)の建築鉄骨自社生産トン数をお答えください。

2-(2) ※自社での生産トン数です(外注、下請けに出しているものは除きます)

※橋梁、橋梁耐震金物、胴縁等付属設備、プラント架台等、建物内にある構造材及びそれに準ずるもの、その他土木付属設備は除きます

t(トン)

- 設問 3. 貴社の完成売上トン数の対前年比(2022年度比)をお答えください。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① -30%超 | <input type="checkbox"/> ⑧ +0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ② -25%超～-30% | <input type="checkbox"/> ⑨ +5%超～+10% |
| <input type="checkbox"/> ③ -20%超～-25% | <input type="checkbox"/> ⑩ +10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ④ -15%超～-20% | <input type="checkbox"/> ⑪ +15%超～+20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤ -10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑫ +20%超～+25% |
| <input type="checkbox"/> ⑥ -5%超～-10% | <input type="checkbox"/> ⑬ +25%超～+30% |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑭ +30%超 |

- 設問 4. 貴社の完成売上額の対前年比(2022年度比)をお答えください。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① -30%超 | <input type="checkbox"/> ⑧ +0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ② -25%超～-30% | <input type="checkbox"/> ⑨ +5%超～+10% |
| <input type="checkbox"/> ③ -20%超～-25% | <input type="checkbox"/> ⑩ +10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ④ -15%超～-20% | <input type="checkbox"/> ⑪ +15%超～+20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤ -10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑫ +20%超～+25% |
| <input type="checkbox"/> ⑥ -5%超～-10% | <input type="checkbox"/> ⑬ +25%超～+30% |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑭ +30%超 |

設問 5. 貴社の直近の決算状況についてお尋ねします。

決算書の損益計算書(P/L)の売上総利益(粗利益)をお答えください。

※売上総利益(粗利益) = 売上高 - 製造原価

(製造原価 / 材料費 + 労務費 + 外注費 + 製造経費)

- ① 黒字
- ② 収支均衡
- ③ 赤字

設問 6. 貴社の直近の決算状況についてお尋ねします。

決算書の損益計算書(P/L)の営業利益をお答えください。

※営業利益 = 売上総利益(粗利益) - 販売費および一般管理費

(一般管理費 / 企画・総務・人事・経理等の費用)

- ① 黒字
- ② 収支均衡
- ③ 赤字

設問 7. 設問 5. で「③赤字」と回答された方にお尋ねします。

現状の鉄骨受注金額に対し、採算ベース(粗利益ベース)にはあといくら位の受注価格(トン当たり)の上積みが必要ですか？

- ① 0.1 万円超～0.5 万円
- ② 0.5 万円超～1 万円
- ③ 1 万円超～1.5 万円
- ④ 1.5 超万円～2 万円
- ⑤ 2 万円超

設問 8. 設問 6. で「③赤字」と回答された方にお尋ねします。

現状の鉄骨受注金額に対し、採算ベース(営業利益ベース)にはあといくら位の受注価格(トン当たり)の上積みが必要ですか？

- ① 0.1 万円超～0.5 万円
- ② 0.5 万円超～1 万円
- ③ 1 万円超～1.5 万円
- ④ 1.5 万円超～2 万円
- ⑤ 2 万円超

設問 9. 設問 5. 6. で「③赤字」と回答された方にお尋ねします。

受注価格の悪化が要因であること以外の赤字要因があれば回答ください。

- 設問 10. 貴社の決算状況の対前年比(2022年度比)についてお尋ねします。
売上総利益(粗利益)の対前年比(2022年度比)をお答えください。
- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① -20%超 | <input type="checkbox"/> ⑥ +0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ② -15%超～-20% | <input type="checkbox"/> ⑦ +5%超～+10% |
| <input type="checkbox"/> ③ -10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑧ +10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ④ -5%超～-10% | <input type="checkbox"/> ⑨ +15%超～+20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑩ +20%超 |

- 設問 11. 貴社の決算状況の対前年比(2022年度比)についてお尋ねします。
営業利益の対前年比(2022年度比)をお答えください。
- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① -20%超 | <input type="checkbox"/> ⑥ +0%超～+5% |
| <input type="checkbox"/> ② -15%超～-20% | <input type="checkbox"/> ⑦ +5%超～+10% |
| <input type="checkbox"/> ③ -10%超～-15% | <input type="checkbox"/> ⑧ +10%超～+15% |
| <input type="checkbox"/> ④ -5%超～-10% | <input type="checkbox"/> ⑨ +15%超～+20% |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 0%～-5% | <input type="checkbox"/> ⑩ +20%超 |

- 設問 12. 貴社の経営上、現在課題となっていることは次のどれですか？(複数回答可)
- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① 受注量が少ない | <input type="checkbox"/> ⑥ 資金繰り難 |
| <input type="checkbox"/> ② 受注単価が低い | <input type="checkbox"/> ⑦ 従業員の採用難 |
| <input type="checkbox"/> ③ 客先の与信問題 | <input type="checkbox"/> ⑧ 従業員の人材難 |
| <input type="checkbox"/> ④ 鋼材他価格の上昇 | <input type="checkbox"/> ⑨ 追加変更代金の回収難 |
| <input type="checkbox"/> ⑤ 鋼材の入手難 | <input type="checkbox"/> ⑩ 図面決定の遅延 |
| <input type="checkbox"/> ⑪ その他(下枠内に具体的に記入してください) | |

- 設問 13. 「輸入鉄骨」についてお尋ねします。
今まで「輸入鉄骨」が採用された物件(案件)を見聞きしたことはありますか？
- | |
|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① ある |
| <input type="checkbox"/> ② ない |

- 設問 14. 設問 13. で「①ある」と回答された方にお尋ねします。
その見聞きした物件(案件)について、どのようなものだったか具体的に教えてください(自由記述)
※回答いただいた内容の公開(調査結果の公表)はしません

- 設問 15. 受注物件の追加について(追加/変更工事)伺います。
追加分、変更分についても受注先へ請求ができていますか？
- ① できている(請求している)
 - ② できていない(請求できない/請求できていない)

- 設問 16. 従業員の時間外労働(残業時間及び休日労働)はひと月あたり平均何時間ですか。
- ① 20 時間未満
 - ② 20 時間以上～45 時間未満
 - ③ 45 時間以上

- 設問 17. 貴社の年間休日は下記のどれに該当しますか(1 日/8 時間勤務を基準)
- ① 年間 100 日未満
 - ② 年間 100 日以上～110 日未満
 - ③ 年間 110 日以上～120 日未満
 - ④ 年間 120 日以上
 - ⑤ 年間 120 日以上、かつ週休 2 日

- 設問 18. 従業員の年間有給休暇の平均取得日数(実態)は、下記のどれに該当しますか。
- ① 年間 5 日未満
 - ② 年間 5 日以上～10 日未満
 - ③ 年間 10 日以上～15 日未満
 - ④ 年間 15 日以上～20 日未満
 - ⑤ 年間 20 日以上

- 設問 19. 自社の「働き方改革」によって生じた影響(良いこと悪いこと、どちらでも可)を教えてください。

(例/完全週休 2 日制にした結果、従業員の時間外労働や休日出勤が増えた)

- 設問 20. 賃上げについて伺います。
貴社は賃上げを行いましたか？(年間総額/年収ベースで)
- ① 賃上げを行った
 - ② 賃上げは行っていない

- 設問 21. 設問 20. で「①賃上げを行った」と回答された方にお尋ねします
具体的な賃上げ率を教えてください(年間総額/年収ベースで)

- ① 0.5%超～1.0%
- ② 1.0%超～3.0%
- ③ 3.0%超～5.0%
- ④ 5.0%超～10.0%
- ⑤ 10.0%超～20.0%
- ⑥ 20.0%超

設問 22. 貴社の広報活動として、SNS を活用していますか？

- ① SNS を使っている
- ② SNS は使っていない

設問 23. 設問 17. で「①SNS を使っている」と回答された方にお尋ねします

SNS をどう使われているのか、具体的に教えてください(どんな広報活動を行っているか、教えてください)

設問 24. 採用・人材確保において貴社で取り組んでいる、もしくは取り組んだ事例があれば教えてください。

(例/当社では多様な働き方に対応するため、従業員の副業を認めています)

設問 25. 人手不足の現状について伺います。

貴社の人手は足りていますか？

- ① 人手は足りている
- ② 人手不足である

設問 26. 設問 23. で「人手不足である」と回答された方にお尋ねします。

業務別でどれくらい(何人)足りないのか、具体的な人数で回答ください。

① 一般事務関係	名
② 営業関係	名
③ 設計、図面、積算担当	名
④ 製造管理、検査関係(施工管理)	名
⑤ 工場作業	名
⑥ その他職種	名

設問 27. 「外国人材」を受け入れている方に伺います。

採用している外国人の出身国を教えてください(複数回答可)

- ① 中国
- ② ベトナム
- ③ カンボジア
- ④ ミャンマー
- ⑤ フィリピン
- ⑥ インドネシア
- ⑦ ブラジル
- ⑧ 上記以外の国(下枠内に具体的に記入してください)

設問 28. 外国人材受け入れのために、貴社が取り組んでいること(選ばれる会社として、どういう取り組みをしているか)を教えてください

(例/入居設備の拡充、賃金の平準化等)

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました

以上

図面問題対応検討WG 報告

1. 報告書（案）

「ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令」（別冊）

①契約…「見積条件書 特記事項」を現行の見積条件書に添付

ゼネコンとの交渉力を強化するためには、すべての構成員が
これを使用することが望ましい

（2025年4月以降、一斉使用を目指す）

→様々な機会をとらえて説明・要請していく

②法令…「鉄骨製作図に関わる建設業法・下請法」（解説）

- ・建設業法、下請法、独禁法の適用条件
- ・図面の問題事例がどの禁止行為に該当するか、
該当した場合は行政のどこに訴えていくか

→法の適用条件はファブの手の内であり、構成員限りとする

2. 今後の進め方

(1) 冊子「ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令」の配布（理事会承認後）

- ・全構成員に1部郵送（周知のため）
- ・全構協HPからダウンロード

(2) 一次説明会（理事会承認後、年内を目安）

支部会で全構協事務局が説明

(3) 二次説明会（1月～3月を目安）

各県組合などで順次実施していただきたい

- ・説明者は一次説明会を受けた人を中心に
- ・説明は30分程度を想定（趣旨、結論を中心に）
- ・このために説明会を開催するのではなく、既に予定されている
会合などの場を使ってください

青年部などの会合も活用

説明会開催は運営委員がフォロー

(4) 「見積条件書 特記事項」を一斉に使用開始（2025年4月）

（3月以前の使用は任意）

以上

全構協・青年部 意見交換会 議事次第 案

(一社)全国鐵構工業協会

場所 鉄鋼会館 801 号室

日時 2024 年 11 月 20 日(水)

時間 13:00~15:50

事務連絡(スケジュール概略、名簿での出席者紹介) → [事務局/2-3分]

1. 全構協 永井会長挨拶 → [永井会長/5分]

2. 全構協 2024 年度事業計画 説明 → [大原総務部長・安藤技術部長/10分]

3. 意見交換会 → 13:15-15:40 [145分]

グループディスカッション

- ・事前に各県代表からディスカッションの題材を集めておく
- ・当日9グループに分けてディスカッション(各グループに理事1名入る)

4. 結び 永井会長 → [永井会長/約5分]

◎ 懇親会 → [司会進行/大原]

時間 16:00-17:30(予定)

場所 鉄鋼会館 802-804 号室

以上

※参考

前回(2024年2月21日)出席

青年部(十全青会) … 44名

全構協(三役・理事) … 12名

事務局 … 5名

合計 61名

2024年9月26日

正会員 理事長・会長 殿
正会員 専務理事・事務局長 殿

一般社団法人全国鐵構工業協会
会長 永井 毅

社長の右腕育成講習会(第4回)受講者の推薦・登録の依頼について

拝啓 平素は当協会の諸施策に、ご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

さて、昨年度までに3度実施し多数のご参加をいただいた標記講習会につきましては、本年度も以下の通り実施致します。(本年度は1度、第4回を実施)

つきましては下記の通り募集を行いますので、貴団体所属構成員企業の中から受講者の推薦・登録をいただきます様、お願い申し上げます。

尚、昨年度と同様に今回につきましても早めの募集に至った旨、ご賢察下さい。

敬具

記

1. 募集の内容

(1)日程 **第4回 2025年2月28日(金)～3月1日(土) (初日受付8:30、2日目終了予定15:30)**

(2)場所 アワーズイン阪急 〒140-0014 東京都品川区大井 1-50-5 (Tel.03-3775-6121)

※過去のアンケート結果を踏まえ、昨年度から金～土曜日に開催とし、終了予定を15:30としております。

(3) 推薦・登録要領 (詳細は別紙「開催のご案内」参照)

1) 受講者枠(総数) 30名

※昨年度に応募を頂いたが受講者枠から漏れた方(会社)が、今回にも応募を頂いた場合、優先的に今回の受講者枠に割り当てます。(応募を頂いた場合、優先的に受講可能です)

2) 推薦対象 鉄骨関連業界の中・小規模会社で経営全般にわたって社長を補佐する立場にある方

3) 推薦・登録方法 別紙「受講者登録申込書(1・2)」にデータを入力し、以下まで送信下さい。

※複数人の場合、申込書2は1名毎に作成願います。(E-mail : info@seec.or.jp)

4) 推薦・登録期限 **2024年10月31日(木)**

5) 費用 **受講料:税込99,000円 (講習費用90,000円+消費税10% 9,000円)**

※講習費用には、受講料、テキスト代、昼食弁当代(2回)、懇親会費用(1日目)が含まれております。**(交通手段・宿泊は各自で手配・ご負担願います)**

6) その他 登録受理後、受講可となった場合、鉄骨技術者教育センターから直接、受講者へ受講料の納入方法、研修当日の集合時刻等、研修実施に係る詳細事項について連絡致します。**(一旦は、受講料全額を鉄骨技術者教育センターにお支払い下さい)**

2. 補助金について(昨年度と同様)

(1) **税込55,000円**の補助に加え、**往復交通費の半額相当額**を補助致します。

尚、交通費の算定につきましては、貴組合所在地を起点とし全構協で算出いたしますので、申請の必要はございません。

(2) 上記につきましては、**受講後に全構協から貴組合口座へ合算して入金**致します。

3. 問い合わせ先

カリキュラム詳細等につきましては鉄骨技術者教育センター(辰巳・山田)までお問い合わせ下さい。

電話 03-6661-2255 E-mail:info@seec.or.jp ※受講者登録申込書も左記まで送信下さい。 以上

第4回『社長の右腕育成講習会』開催のご案内

講習会の趣旨

このたび、当センターでは、主に建築、鉄骨関連業界の中規模・小規模企業を対象に『社長の右腕育成講習会』を開催いたします。

この講習会、当センター会員所属の会社で

「トップに何かあったとき、だれが会社の面倒を見てだれに任すのか、その時に任せられるような人間、社長の右腕となるような人材を育成できないか」ということを目的としています。

今回の講習は

○会社の存在意義

○会社を差配するために必要となるリーダーシップと
コミュニケーションについて

○全国から集まった同じ悩み・課題を持った仲間とのグループ
ディスカッションを通して

○新たな気づき、より広い視野の育成を目指すものです。

開催スケジュール

(1) 第4回 2025年2月28日（金）受付8時30分～3月1日（土）15時30分
募集人数 各回 30名
会場 アワーズイン阪急（東京/大井町）

(2) 受講料 税込99,000円（講習費用90,000円+消費税10% 9,000円）
※講習費用には、受講料、テキスト代、昼食代(2回)、
懇親会費用(1日目)が含まれております。

※交通費及び宿泊については各自手配・負担ください。

(3) 応募締切 2024年10月31日（木）迄

(4) 事前課題について

受講者様、代表者様より受講前に下記事前課題をご提出いただきます。

①受講者様への事前課題

・社長の右腕としての問題・悩み ・社長の右腕としてどうありたいか

②代表者様から受講者へのメッセージ

・受講者の長所 ・受講者への期待・研修で何を持ち帰ってほしいか

事前課題の主旨

- ・講習会に派遣する会社の代表者のコメント、期待メッセージがあれば
より参加者が何を持って帰るのかイメージしやすくなること
- ・受講生の方の課題、悩みを共有したうえで討議するため

坂田卓也

学校法人産業能率大学 総合研究所兼任講師

1974年10月生まれ

略歴

【学歴】

1997年3月 日本大学 理工学部 機械工学科 卒業
1999年3月 日本大学大学院 理工学研究科 機械工学専攻 修了

【職歴】

1999年4月 大日本印刷株式会社 入社 2011年8月 同社退職
2011年10月 エリーパワー株式会社 入社 2018年9月 同社退職
2018年10月 経営コンサルタントとして独立
2021年1月 合同会社サカタ経営設立 現在 に至る
現在 学校法人産業能率大学 総合研究所兼任講師



最近の活動実績

◆研修

- ・ 経営工学（IE）エキスパート養成研修
IE基礎講座、IE 分析と改善提案、改善結果報告
- ・ 生産性向上研修（工場幹部向け）・生産現場のムダ取り研修
- ・ 生産現場の課題解決研修 ・生産管理研修
- ・ 管理・監督者研修、生産リーダー研修、プロジェクトマネジメント研修

◆コンサルティング

- ・ 経営工学（IE）活用した工場の生産性改善
- ・ 特許戦略立案、特許 マップ作成 など

最近の著作物

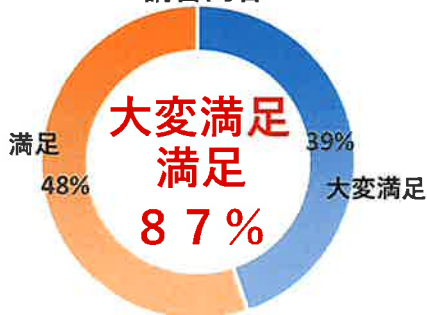
「35歳からでも遅くない！夢をかなえる大人の家計簿」（自由国民社 2012年）

所属学会・資格

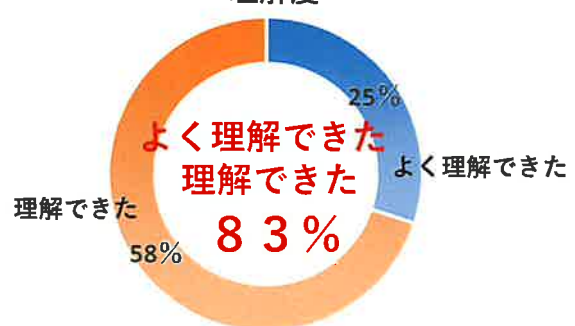
- ・ 技術士（機械部門） ・ 中小企業診断士 ・ エネルギー管理士（熱部門）
- ・ 第3種電気主任技術者 ・ ファイナンシャル・プランナーCFP®

研修の満足度について（第1回・第2回・第3回アンケート結果）

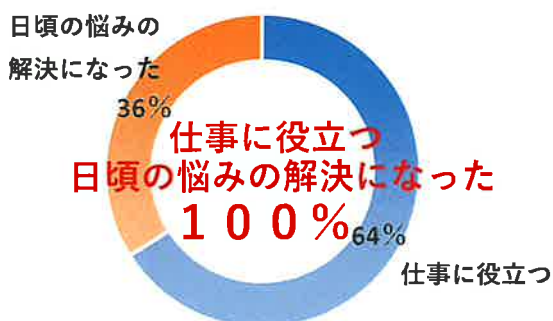
講習内容



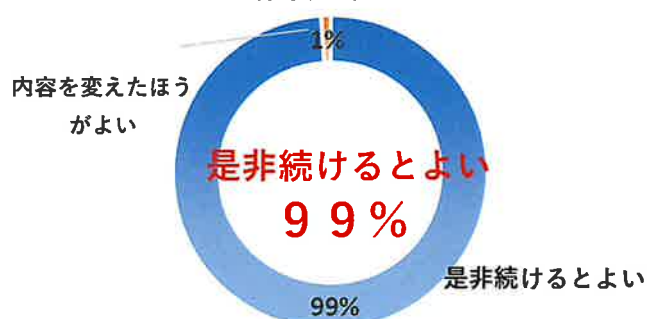
理解度



効果



この講習は続けるか



講習会プログラム

ねらい

1. 社長の右腕として、主体的に会社（工場）運営に参画するマインドを醸成する。
2. 自己の特性を知り、実践場面における効果的なリーダーシップ発揮に向けての課題を抽出する。
3. 問題解決プロセスのうち、「問題発見」段階に必要なスキルである複眼的思考を習得する。

※プログラム内容は今後修正する場合があります。

1日目【人のマネジメント】		
集合	受付8：30開始、8：50までに着席	
講習会	08：30～08：50	受付
	09：00～09：15	開講挨拶、スケジュール説明、講師紹介
	09：15～11：30	【1】オリエンテーション 研修のねらい、進め方 研修に臨むにあたって（自己課題、経営者の期待） 【2】社長の右腕として 会社の存在意義【個人ワーク/グループワーク】 工場マネジメント 【3】効果的なリーダーシップとは 自身の考えるリーダーシップとは リーダーシップとは
	11：30～12：10	昼休憩（同会議室内で昼食用意ございます）
	12：10～17：00	【4】部門間調整と対人対応リーダーシップの基礎 自己理解・他者理解の観点【個人ワーク/グループワーク】 集団理解・合意形成の進め方【コンセンサス実習】
	17：30～19：00	懇親会 阪急大井町ガーデン2F さかな酒場 魚星（半個室 掘りごたつ）
	19：00～	解散

2日目【仕事のマネジメント】		
集合	08：55までに 着席して下さい。	
講習会	09：00～09：10	スケジュール説明
	09：15～11：30	<input type="checkbox"/> 1日目の振り返り 【5】現場のあたりまえを疑う ・複眼的思考とは何か？ ・複眼的思考の実践ポイント ①様々な視点・視野・視座から現象をとらえる ②暗黙の前提を問う ③なぜを問う
	11：30～12：10	昼休憩（同会議室内で昼食用意ございます）
	12：10～15：30	【6】現場を観察し、仮説をつくる ・フィールドワークとは何か？ ・フィールドノーツをつける ・フィールドノーツから仮説をつくる ・自組織の仮説を設定する 【7】研修のまとめ
	15：30～	解散

その他の定例報告事項

【理24-6-他1】

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和6年3月31日現在 (令和5年度増減数)		21	42	2,151
令和6年5月21日 第1回理事会	3月31日	(0)	(9)	2,151
令和6年6月14日 第2回理事会	6月7日	7	6	2,152
令和6年6月14日 第3回理事会	—	—	—	—
令和6年7月9日 第4回理事会	7月3日	3	2	2,153
令和6年8月27日 第5回理事会	8月21日	5	4	2,154
令和6年9月24日 第6回理事会	9月17日	2	0	2,156
累 計		17	12	2,156

《グレード別内訳》

S : 8 H : 293 M : 805 R : 559 J : 39 未 : 452 合計 : 2,156

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和6年9月17日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数	
		登録 社数	取消社数									合 計
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	その他				
平成21年度合計	37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538		
平成22年度合計	23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395		
平成23年度合計	14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260		
平成24年度合計	20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200		
平成25年度合計	13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171		
平成26年度合計	26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158		
平成27年度合計	36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169		
平成28年度合計	36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172		
平成29年度合計	56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201		
平成30年度合計	34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208		
令和元年度合計	25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199		
令和2年度合計	32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197		
令和3年度合計	27	1	10	7	1	0	11	30	-3	2,194		
令和4年度合計	24	1	14	9	3	0	19	46	-22	2,172		
令和5年度合計	21	1	10	4	1	0	26	42	-21	2,151		
令和 6 年 度	第2回 (6月7日)	7	0	3	1	0	0	2	6	1	2,152	
	第3回 (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第4回 (7月3日)	3	0	2	0	0	0	0	2	1	2,153	
	第5回 (8月21日)	5	0	3	0	0	1	0	4	1	2,154	
	第6回 (9月17日)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2,156	
	第7回 (月 日)											
	第8回 (月 日)											
	第9回 (月 日)											
	第10回 (月 日)											
	年度未処理											
6年度計	17	0	8	1	0	1	2	12	5	2,156		
累 計	1,125	502	715	551	131	80	1,211	3,190	-2,065	2,156		

1. 転・廃業内訳

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
転業 0社	転業 2社	転業 4社	転業 0社	転業 0社
廃業 12社	廃業 8社	廃業 10社	廃業 10社	廃業 8社

2. グレード別取消内訳

	S	H	M	R	J	未	合計
令和2年度	0	0	14	7	0	13	34
令和3年度	0	2	5	6	0	17	30
令和4年度	0	1	5	7	2	31	46
令和5年度	0	1	11	4	1	25	42
令和6年度	0	0	0	4	0	8	12

構成員登録社数・増減一覽表

(R6. 8. 22~R6. 9. 17)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回		
北海道	北海道	76			0	76		
	東北	青森	36			0	36	
		岩手	31			0	31	
		宮城	39			0	39	
		秋田	23			0	23	
		山形	27			0	27	
		福島	60			0	60	
		関東	茨城	60			0	60
			栃木	50			0	50
			群馬	67			0	67
埼玉	49				0	49		
千葉	56				0	56		
東京	48				0	48		
北陸	神奈川	43			0	43		
		新潟	84		0	84		
		山梨	29		0	29		
	長野	長野	63		0	63		
		富山	38		0	38		
		石川	32		0	32		
		福井	42		0	42		
中部	岐阜	72		0	72			
	静岡	88		0	88			
	愛知	125		0	125			
	三重	60		0	60			

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	30			0	30
	京都	47			0	47
	大阪	107			0	107
	兵庫	77			0	77
	奈良	35			0	35
	和歌山	36			0	36
	中国	鳥取	15			0
島根		22			0	22
岡山		34			0	34
広島		80			0	80
山口		37			0	37
四国	徳島	25			0	25
	香川	44	1		1	45
	愛媛	40			0	40
	高知	22			0	22
	九州	福岡	49	1		1
佐賀		24			0	24
長崎		18			0	18
熊本		26			0	26
大分		20			0	20
宮崎		25			0	25
鹿児島		28			0	28
沖縄	15			0	15	
合計		2,154	2	0	2	2,156

【理24-6-他2】

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移 (国土交通省建築着工統計速報による)

2024年9月3日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年同期比	面積	前年同期比	面積	前年同期比	トン数	前年同期比
平成17年度計		185,648	101.6	69,338	99.2	5,468	80.0	7,207,200	98.3
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度計		122,466	107.3	45,580	113.3	1,966	104.7	4,656,300	113.1
2022(令和4)年度計		118,676	96.9	41,946	92.0	2,375	120.8	4,313,350	92.6
20(令和3年度)	4月	10,298	91.5	3,912	97.0	158	53.7	399,100	95.5
	5月	8,994	92.7	2,874	84.2	150	49.8	294,900	82.7
	6月	9,177	83.1	2,993	70.5	222	170.8	310,400	72.0
	7月	9,261	82.3	3,137	72.1	218	88.6	324,600	72.6
	8月	9,311	89.4	2,905	83.0	160	126.0	298,500	83.7
	9月	9,200	95.0	3,201	99.5	104	140.5	325,300	100.0
	10月	10,859	109.7	4,015	116.3	161	75.2	409,550	115.1
	11月	8,513	89.0	2,774	80.3	79	49.4	281,350	79.6
	12月	8,712	97.2	3,206	100.6	82	57.3	324,700	99.7
	1月	7,954	85.7	3,175	106.2	64	15.9	320,700	100.5
	2月	7,779	86.3	2,972	86.6	55	94.8	299,950	86.7
	3月	8,256	96.0	3,173	118.8	81	36.0	321,350	115.4
	年度計		108,314	91.3	38,337	91.4	1,534	64.6	3,910,400
20(令和4年度)	4月	10,095	98.0	3,799	97.1	154	97.5	387,600	97.1
	5月	8,353	92.9	2,756	95.9	135	90.0	282,350	95.7
	6月	8,811	96.0	3,138	104.8	98	44.1	318,700	102.7
	7月	8,726	94.2	3,216	102.5	49	22.5	324,050	99.8
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計		35,985	95.4	12,909	99.9	436	58.3	1,312,700

(単位) 面積 1,000m²
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 m² × 100kg
鉄骨鉄筋造 m² × 50kg

2024(令和6)年度 主要会議日程表

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土											
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
6	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
11	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

2024.5.21 現在

- 夏期・年末年始休日
- ◇ 振替休日
- 土日・祝日
- ◇ 休日出勤

開催年月日	三役会	理事会	総会	委員会	その他	備考
2024年(令和6年)	4月11日 木 12:00			15:00 ※	16:30 懇親会	※全国事務局長会議
	5月14日 火 14:00					12:00 全統評取締役会
	5月21日 火 10:30	14:00 ※				※決算・事業報告・総会招集
	6月14日 金 9:30		15:00		17:00 懇親会	14:00 全統評株主総会
	7月2日 火 14:00					
	7月9日 火 10:30		14:00			
	8月20日 火 14:00				11:00 技術審議会	
	8月21日 水					
	8月27日 火 11:00		12:00			
	9月17日 火 14:00					
	9月24日 火 9:30	11:30			15:00 賛助会員との懇親会	賛助会員との懇親会
	10月22日 火 14:30					12:00 全統評取締役会
	11月12日 火 14:00					
	11月19日 火 10:30	14:00				
	11月20日 水				13:00 青年部会との懇親会	青年部会との懇親会
	12月12日 木				18:00 事務局職員との懇親会	16:00 青年部会との懇親会
	12月13日 金 14:00					12:00 全統評取締役会
2025年(令和7年)	1月17日 金 9:30	12:00		15:00 ※	16:30 新年賀詞交歓会	※全国理事長会
	2月10日 月 14:00					
	2月18日 火 10:30	14:00				
	3月11日 火 14:30					12:00 全統評取締役会
	3月18日 火 10:30	14:00				

*

関連団体	開催年月日	備考
【青年部会】 総会・会長会議：2024年4月20日(土) 東京	2025年4月11日(金)	三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
	2025年5月13日(火)	三役会(14:30) 参考：全統評取締役会(12:00)
	2025年5月20日(火)	三役会(10:30) 理事会(14:00)
	2025年6月13日(金)	三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考：全統評株主総会(14:00)
その他		
2025(令和7)年度予定		

* = 変更箇所

【理24-6-他4】

< 北海道支部 > 状況報告書

2024年(令和6年) 8月分

(A)

提出日 令和6年9月6日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等
道央	・ 6日(火) 三役会・役員会	【会議】 ・ 6日(火) 全鉄評 事務局連絡会議(web) 【性能評価】 ・ 1日(木) 工場審査 1社 ・ 8日(木) 工場審査 1社 【講習会】 ・22日(木)～23日(金) 鉄骨製作管理技術者(1級)受験対策講習会(受講者50名) ・26日(月)～27日(火) 鉄骨製作管理技術者(2級)受験対策講習会(受講者15名)
函館		
室苦小樽		
旭川	・ 5日(月) 営業会議 (4社)	
北見	・20日(火) 例会	
帯広	・21日(水) 例会	
釧路	・ 1日(木) ゴルフコンペ、ビール会	

(B)

支部	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	2 ～ 9	1 ～ 5	2 ～ 5	75 ～ 110			○			
函館	3 ～ 4	3 ～ 4	1 ～ 3	30 ～ 100		○				
室苦小樽	6 ～ 9	1 ～ 2	1 ～ 2	80 ～ 110		○				
旭川	5	3	/	70 ～ 110			○			
北見	/	1 ～ 3	/	50 ～ 100			○			
帯広	3 ～ 9	2 ～ 3	1	75 ～ 120			○			
釧路	3	4 ～ 6	/	95 ～ 150		○				

(C)

支部	現状と今後の状況の見通しについて
道央	・山積み及び工場稼働率は、各グレードともに前月とほぼ変わらず。山積みはS/Hで2～9ヶ月、Mは1～5ヶ月、R/J/未は2～5ヶ月。工場稼働率はS/Hは90～100%、Mは100～110%、R/J/未は90～100%。見積は「少ない」が前月と比べて増加し19社で59%。「同じ」が減少し12社で38%。相変わらず「新規・中小物件の見積りが少ない」、「足元の案件が少ない」というコメントが多いが、「次年度案件が増加中」などのコメントもある。 共同積算:1-8月 74,258t 平年比85% 前年比128%
函館	・多少のバラつきはあるが、山積み、稼働率ともに先月と変わりなし。見積りは中小規模物件が複数件、また着手時期等の詳細は未定だがホテルの計画もある。価格については大きく変わりなし。
室苦小樽	・先月と変わらず、見積り案件は例年に比べて低調。来年度案件も少しずつ出てきているが件数は少ない。
旭川	・Mグレードの見通しは、各社11月頃までで、冬に予定していた物件がなくなったりと厳しい状況。ただ、来春の見積りは少ないながら出てきてはいる。Hグレードは12月までの予定はあるが、状況は変わらず年明けの物件は決定に至っていない。
北見	・小規模物件は多少あるが、これといった物件はない状況。
帯広	・工場稼働は先月並み。山積みはHが4～9ヶ月あるが、M・Rは1～3ヶ月と低調気味。価格変動の話は聞こえてこない。
釧路	・各社、忙しい状況が続いており、建方時期が重なり苦労している。鉄骨単価は維持している。

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2024 年（令和 6 年）8 月分

(A)

提出日 令和 6 年 9 月 2 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○8/23 図面問題に関する要望活動（関係3団体訪問）	○8/22 8月期定例役員会（盛岡） ○8/23 全青会東北ブロック主催 第29回東北サミット（気仙沼） ※主管：宮城県組合青年部
岩手県	○8/7 県南支部会 ○8/23 盛岡支部会・納涼会	
宮城県	○8/23 青年部第29回東北サミット（青年部主管） ○8/28 営業担当者会議、納涼会	
秋田県	○8/2 営業担当者会議	
山形県	○8/8 技術・品質サポート制度（1社） ○8/21 工場審査（1社）	
福島県	○8/2,21,23,26 工場審査（各1社） ○8/2 青年部第3回役員会・暑気払い ○8/21～22 建築鉄骨製品検査技術者実技講習会 ○8/23 いわき支部納涼会 ○8/28 第2回営業責任者会議・暑気払い	

(B)

都道府県	①手持ち工事量（ヵ月）			②稼働率（%）	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
	H	M	R・J	稼働率（%）	多い	普通	少ない	S造 (H+H)	S造 (コラムH)	SRC造
青森県	3～16	2～8	1～3	70～120			○			
岩手県	3～10	2～5	1～3	70～100			○			
宮城県	5～12	3～7	0～2	50～120			○			
秋田県	5～10	3～6	1～5	75～110			○			
山形県	3～16	1～12	1～4	90～120			○			
福島県	6～10	1～12	1～3	50～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	前月から稼働率・工事量・加工費いずれも横ばいで推移。夏場の県内見積物件数は極めて少なく、来年上半年頃まで薄い状態が続くとの見方が多い。7割近くのFABが先行きを不安視しているが、採算重視で仕事を選別し、この厳しい状況を乗り越えたい。
岩手県	工場稼働率、手持ち工事量は比較的高い水準を確保できており、加工費も大きな変化なし。見積物件数は依然低調だが、「やや増加」との回答も始めていることに期待したい。今年は岩手も大雨が多く、各社の工場、従業員と家族に被害が出ないことを祈っている。
宮城県	見積物件数は少ない状況が続き、手持ち工事量・稼働率共にバラツキがあり、工期の遅れによる工場製作の手持ちもいくつかみられる。景況、実勢ともにあまりいい話は聞こえてこない。当面はこの状況が続くとみる。
秋田県	手持ち工事量、稼働率に大きな変動はない。県内見積もり物件数が厳しくなってきたおり単価も相変わらず厳しく先行き不安である。
山形県	見積依頼件数は依然として少ない。価格も相変わらずの状況であり、見積数と併せて上昇に期待したい。
福島県	各社それなりに稼働率も高く、受注残も確保しているようです。返答遅延等の原因により必要な製作期間が確保できない環境がこれまで以上に問題となります。仕事量の減少傾向は、引き続くとの話が多く聞かれています。低価格化しやすい環境下です。受注量確保より、適正な受注請負額を確保できることが重要な課題かと思えます。

＜ 関東支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年)8月分

提出日 令和6年9月2日

(A) ①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	関東支部活動・行事等
東京都	8日 西地区会 17日 東構整	5日 第3回運営委員会
千葉県	2日(金)南部支部会 9日(金)東部支部会 31日(土)青年部全体会議 工場審査1社	
神奈川県	8日 共同受注・購買勉強会、22日 総務委員会	
茨城県	1日 運営委員会 7日 東関東非破壊検査研究会役員会 8日実習生帰国送迎 22日 量子線セミナー、県南・鹿行支部会 30日 第3回理事回、31日 UTレベル1学科講習会	
埼玉県	6日(火) PAWG(フェーズドアレイ実証実験)建築学会発表打合せ 7日(水) 総務委員会、展示販売会打合せ会議 21日(水) 組合理事会、労務委員会 22日(木) 県南支部会 23日(金) 県西支部会 28日(木) PA(フェーズドアレイ)探傷器の実証実験成果を建築学会にて発表 29日(金) 県北支部会	
栃木県	8/2 青年部・賛助会合同勉強会及び懇親会、 8/6 鉄骨製作図問題要望書提出(栃木県県土整備部建築課・県設計事務所協会・県建築士会・県建設業協会・県建築構造設計事務所協会) 8/22 運営委員会	
群馬県	8/6西毛支部会、8/7東毛支部会	
長野県	1日 性能評価工場サポート 3・4日 とび学科講習会 9日 工場審査 20日 工場審査 22日 工場審査 24・25日 UT学科講習会 27日 全県評リポート会議 30日 運営委員会 // 中央会事務主任者会議	
山梨県	9日 理事会 22日 西支部会 23日 青年部会 26日 関東安全衛生センター—山梨出張試験 経営近代化委員会 27日 東部地区溶接協会連絡会事務局長会議 教育技術委員会 28日 溶接安全委員会・ガス溶接技能講習(一般、1大学、3高校)	
新潟県	8/6 工場性能評価サポート1社 8/7・20~22工場性能評価審査 4社 8/6 正副理事会 8/29 出張理事会 8/24 エンドタブ講習 8/26、27 図面問題要望~営繕課・建設協会・JSCA新潟	

(B) ①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	6~13	2~7	1~3	60~110			○			
千葉県	6~12	2~25	2.0	70~100			○			
神奈川県	7~10	2~8	2~3	80~100			○			
茨城県	6~12	6~10	2~3	80~110		○				
埼玉県	4~30	1~11	1~4	70~100		○				
栃木県	8~12	2~8	1~6	90~120			○			
群馬県	6~9	2~6	1~3	80~100			○			
長野県	6~11	4~6	4	70~110			○			
山梨県	6.0~12.0	0.5~7.0	2.0~3.0	76			○			
新潟県	5~14	3~6	2~3	60~100			○			

(C) 都道府県		現状と今後の状況の見通しについて
東京都	前月同様、図面の承認遅れ等の影響による工期、製作工程遅延などで製作調整していた案件が動き始め、製作が間に合わず他社に協力を求めるファブがある一方で、仲間で仕事を融通し合い仕事量を確保しているファブもある。見積物件は少なく、下落傾向にある単価や材料価格が高止まりするなか、採算を度返して受注する企業がある。	
千葉県	見積り件数が少ない。業界として最低価格を明示する等、鋼材価格や景気の動向など先行きの見えない状況を打開してほしい。他社の状況を知るツールがあると物件の協力をお願いできる。図面だけでなく、現場の取扱いが酷い。元請けとしての仕事を下請けに任せる体質が酷くなっている。	
神奈川県	見積りもりの状況は先月と変わりませんが、来年初以降の見積りもが増えてきた感じがあります。資材、人件費の高騰で市の予算から大幅なコスト上昇が分かり、延期となった物件が出ました。同様な理由で延期となった物件が他にもあり、一旦は延期となった物件が再度出てきた。1年以上前に見積りもした物件ですが、予算を組み直したようです。このように一巡するケースも増えてきた様には感じます。	
茨城県	見積りはそれぞれ出ているが、決まらずに、加工費は安くなってきている物件もあるらしい。今年後半から来年に向けて物件が出てくるか、目途が立っていない。	
埼玉県	図面承認の遅れで製作ができない問題があるが、昨年、設備業者が決まらないうち、現場での土木造成や基礎工事の業者が決まらないうちで制作に取り掛かれないうち、製品ができたとしても搬入ができないということが起きてきている。これらは建設業界の能力(マネージメント力などを含む)不足や人手不足の要因も絡んでいると思われ、多面的に問題点をとらえて解決策を講じないと解決には至らないと思われる。一方、この8月に国土省が令和6年6月14日公布(令和6年法律第49号)の第3次・担い手3法の改正についての発表があった。我々業界にも影響がある改正と思われるが実効性については官庁工事は有益であるかもしれないが、民間工事では力不足に感じられる。そのため、業界あげて民間工事にも適用になるよう働きかけるべきではないか。	
栃木県	・改修工事等の案件は多くあるが、新築物件の動きが鈍い。 ・現場溶接工が手配できないなど人手不足が深刻になってきている。 ・仕事量が少いのか受注受注の話が多く聞かれる。適正価格での受注をしたくても中々難しい。 ・工事発注が遅いなど工事の着手が遅れて工程調整が難しい。	
群馬県	足元の仕事が少いのは各グレード共通しているが、見積数は各グレードによりバラツキがみられる。また、単価の折り合いが既主様と合わず、延期や中止となっている物件が散見される。	
長野県	・現状、図面決め込みの遅れで加工がズレて稼働率が落ちている。 ・受注受注をするFABが出てきているが、今後の受注活動に影響があると考えている。 ・来年度物件が具体的に動き始めてきた。 ・輸送部の立場から、効率よく積み込みができる企業と、効率の悪い積み込みの企業の差が徐々に始まっている。 ・現状の手持量80%ぐらい。2025年に期待する。 ・日が経つにつれ価格が下がっている。 ・受注済みの物件について、追加工事の金額交渉が難しくなった感じがする。 ・年末は忙しいが、来春からの工事が少ないと思われる。 ・現場のゼネコンからの仕事がほとんどない。 ・県外の業者が地元ゼネコンに営業に来ている。	
山梨県	お盆期間の影響もあり、全体的に受注の動きが少ない傾向にある。手持量はファブにより大きく異なっている。人手不足を補うため求人をかけているものの、応募が少なく採用に至らない状況にある。	
新潟県	手持ち工事量が少なくなっている。 現場物件が少ないのでGCの指値が厳しくなっている。 副資材、消耗品の単価が値上がりしているため、収益が悪化しているとの回答が増えた。	

＜北陸支部＞ 状況報告書

2024年（令和6年）8月分

(A)

提出日 令和6年9月13日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	北陸支部活動・行事等
富山県	19日(月) 富山県建設専門工事業団体協議会・監査会 26日(月) 全鉄評との意見交換会(Web) 28日(水) 富山県建設専門工事業団体協議会・定時総会	27日(火)全構協理事会参加(台風のためWEB参加)
石川県	24日(土)JSCA北陸部会納涼懇親会 26日(月)全国鉄骨評価機構事務局連絡会(WEB) 31日(土)青年部懇親会	
福井県	1日(木)工場審査(Hグレード1社) 2日(金)県鉄工業協同組合連合会 事務局責任者会議 21日(水)工場審査(Hグレード1社) 22日(木)臨時三役会 23日(金)工場審査(Hグレード1社)	

(B)

都道府県	① 手持工事量(ヶ月)			② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～12	2～4	1～3	70～100			○			
石川県	6～10	2～3	1～2	80～110			○			
福井県	6～10	2～3	1～2	80～110			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	<p>施主都合による物件の中止、規模の見直しが続いており、仕事量の増加は見込めない。又、11月1日付で60日を超える約束手形の割引が困難となるが、一部の大手ゼネコンを除き、この対応はされていない。高い鋼材の立替をしている我々ファブにとって大きな問題である。厳しい環境下ではあるが、ゼネコン(特に地場ゼネコン)に約束手形の短縮と現金比率の増加について折衝をしていかねばならない。</p>
石川県	<p>各グレードとも見積りや稼働率については、先月と同様で低水準のまま、大幅な変化は見られない。震災の復旧復興は、まだまだこれからといった感じで、震災関連以外の物件についても年内の地場物件は不透明の状態で、今後もしばらくは厳しい状態が続くと思われる。生産コストは依然上昇傾向にあり、価格転嫁に苦慮している。この先も建設コスト上昇に伴う鉄骨工事自体の見直しや延期や中止にも注意が必要と思われる。</p>
福井県	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事量稼働率ともに前月に比べ各グレード共大きな変化は見られない。 ・見積物件数が増加せず、中小物件でも価格競争が始まる兆候がある。 ・組合員同士の情報交換を一層密にして安定価格を守っていくことが肝要である。

＜ 中部支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年) 8月分

(A)

提出日 2024年(令和6年) 9月 3日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等	中部支部活動・行事等	
岐阜県		2日(金)	全構協:技術委員会 出席
静岡県		8日(木)	全構協:運営委員会 出席
愛知県	2日(金) 名古屋南支部会 9日(金) 名古屋北支部会 20日(火) 創立50周年実行委員会 20日(火) 青年部会 性能評価工場審査 1社	19日(月)	全構協:技術委員会 出席
		26日(月)	全鉄評:事務局連絡会 出席
		27日(火)	全構協:理事会 出席
		29日(木)	マル管受験準備講習会 講師 打ち合わせ会
三重県	性能評価サポート 5日 工場審査 5社		

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	3 ~ 8	3 ~	1 ~ 3	60 ~ 100		○				
静岡県	6 ~ 12	2 ~ 6	2 ~ 6	70 ~ 110		○				
愛知県	9 ~ 20	3 ~ 7	2 ~ 4	60 ~ 120			○			
三重県	12 ~ 13	2 ~ 5	1 ~ 4	88 ~ 116			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・見積もりは多いが概算などもあり、いまいち見通せない。 ・延びていた物件が動き出したが、かなり前から残っていた案件が出て来たりしている。 ・三重、富山など他県から進出してきている。 ・Hグレードは大型物件に携わっているので、長期で持ち合わせている。 ・市内公共物件は、価格折り合わず一度流れた案件が再度出回っている。
静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の物件も工程のズレが出てきた。来年の動向も見えてこない。 ・予定は入っているが工事の延期が多い。年内は仕事がありそうだが来年はわからない。 ・建物の見積もりがない。設備関連の施工で繋がっている状況である。 ・ますます加工単価の競争が激しくなっている様相がある。
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年度の少ない受注量に対して2026年度は大きく増えそうなので従業員の確保に苦労しそうです。 ・ゼネコンからの見積依頼は2026年建方以降の物件ばかり。未だ2025年春以降の山積みが増え続けているなかで来年の工場稼働の不安が残る。 ・商社鉄骨が北陸方面のFABを担いで非常に安価にゼネコンに価格表示を行っており、価格低下に繋がらないか心配している。 ・一部流通の低価格の指値が横行し見えない価格に情報不安になりそう。当分、不透明な状態が続く。 ・下半期から来年は例年並みに推移しそうです。 ・見積もりはあるので期待しているが仕事の見通しは暗い、ただし業界の見通しは明るいと感ずる事がある。 ・年内までは通常受注になりました。来年の1・2月物件の引き合いもあり、受注に繋がりがちな感じですが、25年度の状況はまだ判断できない状況です。 ・年内で抱えていた長期工事が終わるため、今後売り上げが下降するのではないかと思います。
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・関西・中部圏の見通しは暗い。 ・来期の仕事量が少ないことから大型物件の受注金額に影響が出ている。(工場山積みを繋ぐのが厳しい) ・三重県北部では来期の案件情報は出てきてはいるが、多方面に応援依頼を掛けるような物量ではない。 ・工事単価の下落傾向は続いている。都市部では採算を疑うような見積が出てきているところがあるとのこと。 ・見積あっても現実味のないものが殆どで、実見見積は全般的に少ない。 <p>(全構協・業界等への要望・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年問題に対する認識が客先・ゼネコンで依然変わっていないところが多い。図面問題をはじめとして、組合やファブ単体でも要請を行っているが、全構協でも更なる実効性のある施策を打ち出してほしい。

＜ 全構協近畿支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年 8月分)

(A)

提出日 令和6年 9月 8日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・8/7青年部会定例会及び納涼会、けんせつみらいフェスタ打合せ	8/26全国事務局連絡会(近畿、北陸)
京都府	8/2役員会8/6四役会8/7工場審査8/19京都府陳情8/21西支部会8/23京都市陳情8/24中・南支部会	
大阪府	8/21第2回定例理事会	
兵庫県	・8/1、8/5、8/7、8/8 前期工場審査 6社	
奈良県	8/1 工場認定 8/3 親子ものづくり体験教室 8/19 共済・経営近代化委員会会議 8/29 三役会	
和歌山県	8/4近代化委員会 8/20性能評価審査1社	

(B)

都道府県	①手持ち工事量(ヵ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	60 ~ 100			○			
京都府	6 ~ 12	3 ~ 12	1 ~ 4	50 ~ 100		○				
大阪府	6 ~ 12	3 ~ 5	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
兵庫県	6 ~ 12	2 ~ 6	1 ~ 3	50 ~ 100			○			
奈良県	~	2 ~ 8	1 ~ 4	60 ~ 100		○				
和歌山県	8 ~ 13	2 ~ 6	1 ~ 3	50 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	今期に入って約半年近くなるが、仕事が今一つ伸びず良い話が聞こえて来ない。最盛期のはずだが全く盛り上がりせず繁忙期の気配はない。予定していた物件が延びたり無くなったりで先が見えない状況である。例年この時期は休日が多く駆け込み需要があるものだが今年は盆休みで休む企業が大半で、先行きも以前として厳しい状況で推移すると思われる。中小工事が低迷している中でファブは全体的に稼働率を落としており、おおよそ年末まで70%~80%の状況が続くと思われる。
京都府	来年夏以降の話はありますが、それまでがなく、大変厳しい状況です。年明け以降の案件の見積もりや引き合いが少なく受注環境は不透明。京都の地場ゼネコンさんの鉄骨関連の仕事が少ない様に感じる。小型の民間物件が少ない。年内忙しいです。製作協力分忙し忙しいです。自社物件も始まり忙しいです。見積物件が多く出てきましたが、決まりが悪く決まっている物件でもコストダウンを含め設計変更で工事が止ま苦労している。見積物件数は少ない状態であり、秋以降の予定は決まっているものの来年に向けての話がどうなるかが心配です。秋以降少ないような雰囲気でしたが、年内は埋まってきているような話を聞きます。年明けは春ごろまで仕事量が少なそうです。年内はほぼ山積みしているが年明けの見積りが少ない。2025年は良くなると言われていたが果たして。年内受注完了。
大阪府	工場稼働率と手持ちの物件量については、相変わらず低迷状態が続いている。指値もより一層厳しくなっており、数か月前に妥当と思えた値段を提示すると、高値と判断される。受注の判断が難しい。また、安値受注をする輩に、振り回されない様踏ん張りどころである。仕事量が全般的に少ない為か、トラックの手配はスムーズにできる。見積依頼は若干増えてきているようで、来年春以降、再来年の物件に期待が持たれる。
兵庫県	新規案件は少しずつ動き出しているが、中小案件のみで大型の案件はあまり動きがない。図面の遅延や材料費の高騰といった問題は依然続いており、新規案件が出たところで指値が厳しく納得のできる見積ができないことも多い。
奈良県	・一般物件の鉄骨加工料の下落が心配。また、全体的に物件数が少なく、受注にも苦労しています。「10月頃から年内にかけ、急に仕事が少なくなる。」「年内は少なく、来年に期待。」「年明けに期待。」「年末にかけ、仕事量が増えそう。」「来年の見積もりは増えて来ている。」といった報告も有ります。
和歌山県	昨年度後半から今年度に入っても、県内鉄骨新築案件は公共・民間を問わず、少ない状況で推移しています。上位グレードファブでは、首都圏・近畿圏の案件を安定的に受注加工しているようですが、単価のほうは下落傾向と聞いています。Mグレードファブにおいても、地場案件を中心に少ない仕事を競合していることが多く、受注単価が非常に厳しい状況です。R・Jファブは、現場での改修工事などをこなして稼働率を維持しているようです。今年も酷暑のため、工場での作業効率が非常に落ち込む1ヵ月だったかと思えます。まだまだ暑い日も続くようなので安全対策にしっかりと励みたいですね。

＜ 中国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年)8月分

(A) 提出日 2024年(令和6年)9月10日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等
鳥取県	9日(金) 10日(土) 21日(水) 30日(金)	「鳥取県技能祭」第1回実行委員会 東部支部例会 理事役員会、青年部会例会、合同懇親会 西部支部総会・合同懇親会	8日 全構協:運営員会 26日 全鉄評:性能評価事業に関する組合事務局との連絡会(zoom)
島根県	9日(金) 9日(金)	役員会(浜田市) 青年部会役員会(浜田市)	27日 全構協:第4回理事会
岡山県	7日(水)	第3回理事会(岡山市)	
広島県	1日(木) 2日(金) 5日(月) 7日(水) 8日(木) 23日(金)	工場審査サポート1社 組合 第4回三役会・第4回理事会 工場審査サポート1社 工場審査サポート1社 工場審査サポート1社 鉄骨製作部会(溶融亜鉛めっき工法)実験見学会	
山口県	6日(火) 6日(火) 19日(月) 23日(金)	鉄骨製作図問題の是正・解消に向けた要望活動(1団体) 第3回理事会 工場審査サポート1社 工場審査1社	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヶ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	3 ~ 21	2 ~ 4	1 ~ 2	80 ~ 150		○				
島根県	5 ~ 6	2 ~ 5	1 ~ 2	70 ~ 100			○			
岡山県	4 ~ 22	3 ~ 7	3	80 ~ 100			○			
広島県	6 ~ 18	3 ~ 7	2 ~ 4	60 ~ 110			○			
山口県	2 ~ 4	0 ~ 4	0 ~ 6	70 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	県内において本年度の大・中規模公共建築物は、無いに等しく小規模程度の物件が少々の発注がある程度続いている様子で、民間工事においては県西部地区に工場・流通店舗関係の工事が活況をおびているものの、県内全体の受注案件・景気状況を注視しながら、工事の引き合いは慎重な姿勢を維持して、先行き不透明感を払拭していける時が来ることを信じて組合員同士の協力的体制の強化・構築を目指して頑張っている状況である。
島根県	Hグレードは、年内の仕事量はあるが、年明け以降の見積・案件が少なく先行きが不安視される状況である。MグレードもHグレード同様に、年内の仕事量は確保出来ているが、見積りが少なく受注金額も下降傾向が窺える状況にあり、先行きが非常に不安である。Rグレード以下の下位グレードでは、引き続き鉄骨加工が少なく金物製作や現場工事中心であり、先行きの見通しがつかない状況である。
岡山県	夏枯れの頃であり、仕事が少ないのはある意味通常通りであるが、都心を顧客とするHグレードまで含めて仕事が枯渇するという異常な状況である。地元の工事を主戦とするM以下についてはH以上に深刻であり、建築鉄骨の仕事だけではどうしようもない状況となっており、橋梁耐震金具の製造、あるいは鉄工所以外の仕事に見出している状況である。材料や輸送コスト、人件費が上がり続ける中でこの状況は大変厳しいものであり、早急な対策が必要と考える。
広島県	稼働率100%以上が調査工場の54%、稼働率80%以上は83%あり、他社応援も含め全体的に高い稼働率が維持されている。手持工事量は、Hグレード3社が全て6か月以上(1社は18か月)であるのに対し、Mグレード以下の18社中14社が6か月未満、うちRグレードの7社はすべて2~4か月と、依然として規模による格差が大きい。見積り物件については、7月調査では6割近くあった「普通」が3割程度に減少し「少ない」が65%を占めており、Mグレードに、秋口以降も物件数は以前より相当減少しているように思われると今後を不安視する声が出ている。工程が定まらない物件が多発したり、施工図の寸法決定がされない工事の頻度が極端に上がってきているとの報告もある。
山口県	Hグレードは他社物件と自社物件で稼働率はまずまずの状態。見積りは先月よりも少ない状況で色々情報収集をしているが物件自体が少ない様子。来年あると言われていた工事がいつから具体的に動き出すのか情報が掴めてなく来年の状況を不安視している。M・Rグレードはファブによって差があるものの「現状は忙しいが自社加工で間に合う程度であふれる程の仕事はない」や「他社応援の加工が多い」等、手持ち工事量が少なくなってきたり稼働率が低くなっているとの声が多い。新築案件より改修工事が増えていて見積り依頼が少なく案件情報が乏しいため今後の自社物件の受注に不安がある。近場の公共工事も著名な建築家に依頼したため特殊な工法を必要とする建築物がPFI事業のような大型案件が主体で容易に請け負えないものばかりでまったく当てにならない。このような芳しくない状況に加えて物価高と人材不足による影響を受けており、もうしばらく辛抱して秋口からの変化に期待している状況である。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和6年)8月分

(A) 提出日 令和6年9月10日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	1日(木)～2日(金)、5日(月)～6日(火)AW検定実技練習 7日(水)鉄工技能検定対策実習 8日(木)・23日(金)・26日(月)・27日(火)非破壊検査技術者実技講習 9日(金)情報交換会 29日(木)AW検定	
香川県	1日(木)西讃支部会 7日(水)理事会 8日(木)中讃支部会 21日(水)九州支部様との懇談会 27日(火)全鉄評連絡会議	
愛媛県	3日(土)理事会、青年部との合同懇親会 21日(水)工場審査 26日(月)工場審査	
高知県	5日(月)工場審査 6日(火)工場審査サポート 8日(木)工場審査 20日(火)工場審査	

(B)

都道府県	①受注物件件数(ヵ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	3 ~ 7	0.3 ~ 2.5	1 ~ 2	70 ~ 120			○			
香川県	3 ~ 5	2 ~ 3	~	95 ~ 105			○			
愛媛県	5 ~ 9	2 ~ 6	2 ~ 6	80 ~ 100			○			
高知県	6 ~	2 ~ 6	1 ~ 3	70 ~ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	見積り、仕事量ともに非常に少なく、しかも受注金額の中の材料費の割合が高い。四国は冷え込んでいるという印象。安価受注に走ることなく仕事量を確保することが最重要課題。建物の仕事が少ないので橋梁、設備過大が中心になっている会社もある。
香川県	昨年から見積もりが少ない状況が続いており、8月度も県内物件が少なく商社・鋼材店からの依頼物件で稼働率を確保しているFAB また、延期物件が加工再開しているFABもあるが全体的には低迷している。今後についても、不透明な状況が続くと思われる。
愛媛県	現在の受注状況については各グレードとも一定量を確保している。この先を占う見積状況については「夏前までは多かった、夏場から出てきた」と各社各社で状況が異なっている。ただJ・Rクラスからは「見積はあるが50トンクラスまで」との報告があるように今年度前半期を通して県内物件での見積数は増えていない感がある。
高知県	物件報告は非常に少ない状況であり、また設計見積も少なく先行きが不安な状況である。価格も下降している。

＜九州支部＞ 状況報告書

2024年度(令和6年度) 8月分

(A)

提出日 令和 6年 9月 4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・8/5 福岡県建築鉄骨協議会 ・8/7 日本鉄鋼連盟九州地区サブネットワークWG 鉄骨製作工場見学 ・8/22 技術委員会(WEB)	・8/21 全構協九州支部 第3回支部理事会、香川県組合様との懇談会 (福岡市) ・8/27 全国鉄骨評価機構 性能評価事業に関する事務局連絡会(Web) ・8/30 全構協九州支部 第5回支部事務局Web会議
佐賀県	8/5 県建築住宅課へ図面問題の詳細説明の実施 8/24 建設産業連合会 役員会出席	
長崎県	8/8 長崎県土木部との勉強会打合せ 出席 8/20長崎県建築鉄骨研究会専門委員会 出席	
熊本県	8/1 陳情活動 8/7 鉄骨問題協議会 8/23 理事会	
大分県	8/2, 8/5, 8/8, 8/27鉄骨図面是正要望陳情活動(役員・地区担当者) 8/9建設関連専門委員会(中央会)(理事長出席)	
宮崎県	8/1・5・6・8 認定審査立会い業務(6社) 8/24青年部会ゴルフコンペ・第3回幹事会・夏の懇親会開催	
鹿児島県	8/2・8/7性能評価工場審査 8/19青年部会役員会(Web) 8/23理事会・大隅支部交流会	
沖縄県	・8/6日:定例理事会、8/9・14日:性能評価審査工場支援、22日:性能評価工場審査、29日:青年部会	

(B)

都道府県	①手持工事量(ヵ月)			②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	4 ~ 12	2 ~ 3	1 ~ 2	80~100			○			
佐賀県	6	1 ~ 4	1 ~ 3	80~100			○			
長崎県	5 ~ 12	3 ~ 6	—	65~100		○				
熊本県	7 ~ 8	3 ~ 7	3	94.6			○			
大分県	5 ~ 12	3	—	80~100			○			
宮崎県	6 ~ 12	1.5 ~ 6	0.8 ~ 2	50~100		○				
鹿児島県	4~12	2~10	1~2	70~100			○			
沖縄県	2 ~ 3	2 ~ 3	1 ~ 3	90~100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・鋼材、副資材、運送費、電気代、人件費等の値上げ分が受注単価に転嫁できていない現状。
佐賀県	・公共、民間工事共に発注が少なく仕事量が減少し厳しい環境が続いている。 ・ここ最近では工場稼働率が下がっている。今後も稼働率の上昇は見込めない状況。
長崎県	各社ばらつきが大きい。ゼロ金利政策が終わり今後の金利株価の動きの推移しだい。 気候変動熱中症対策。依然としてチェックバックの遅延。
熊本県	見積が少ない。公共工事が少ない。 中小物件が少ない。 副資材が高くなった。 運送費が高くなる。 図面の承認が遅いので、予定より作図工程が遅くなり工場の工程がうまく流れない。 TSMCの2期工事の陳情を行った。
大分県	◎図面承認が遅れて稼働率が悪い。見積は増えてきた感じ。鋼材単価弱含みの予想で受注単価下落が懸念される。◎現在物件は少なめだが秋から冬にかけて物件が多くなるのではないかと。スクラップの値が下がりはじめています。鋼材価格が下がるとは思えないがゼネコンからの指値に影響がでるか。
宮崎県	・Hグレードの需要増加に引っ張られる形でM・Rグレードも僅かながら稼働率・手持工事量ともに上がってきている。 ・10月以降の需要に関しては、グレードや地域によりバラツキがありそうだ。
鹿児島県	わずかに持ち直しの動きも見られるが、相変わらず見積りが少ない。今年～来年秋にかけて物件が減少傾向との見方もあり、先行き不透明。
沖縄県	・先月に引き続き、加工予定物件のずれ込みにて工場稼働率が非常に高いファブもあり、他のファブに加工を依頼。見積もりは建築鉄骨は少ない。躯体付属金物等の小規模が多い。